

東京教区時報

第1049号
2007年9月23日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇9月の代祷・信施奉献先
▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽タイのHIV感染者及びAIDS発症者支援のため▽心臓病児保育活動のため

◆とこしえの平安

9月3日 今井 雅子 (52) 聖愛
9月4日 田枝 愛子 (84) 聖テモテ
9月8日 松村 光子 (84) 聖マーガレット
9月10日 郷司 亮 (72) 聖アンデレ
9月14日 松田美太郎 (94) 神田キリスト

▽教区礼拝音楽委員会「礼

今週・来週の予定

9月23日～10月6日

- 23(日) 聖霊降臨後第17主日
主教巡回 浅草聖ヨハネ教会
城南G教会協議会(聖アンデレ)
山手G教会協議会
(聖マーガレット)
- 24(月・休) 教区フェスティバル
(立教小学校)
- 25(火) 銀座朝拝会
- 26(水) 信徒講座—塚田司祭(聖バルナバ)
- 28(金) 信仰と生活委員会
教役者待遇調査委員会
- 30(日) 聖霊降臨後第18主日
主教巡回 月島聖公会
下町G教会協議会(神愛)
- 10月
- 1(月) 幼稚園委員会
- 2(火) エルサレム教区協働委員会
教財務サービス委員会
- 5(金) 広報委員会
聖職試験委員会
教区企画室

拝音楽を学ぶ第2回」私たちの信仰を歌う。聖公会の歴史とその特徴・18世紀から今日まで。10月1日(月)18時半、聖アンデレ教会礼拝堂。講師Ⅱスコット・シヨウ(立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊長ほか)。会費千円。申込・照会

先Ⅱ清瀬聖母教会(宮崎光司祭)、9月29日(土)締め。TEL 042(493)7472。
▽聖路加国際病院礼拝堂定例オルガンコンサート&夕の祈り
10月3日(水)18時半、19時からそれぞれ。演奏者は浅尾直子。入場無料(会場献金)。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

私は聖職となったことで、多くの方々がこの世の最後に立ち会う機会があります。お一人お一人の最後はじつに様々で、生きてこられた人生が現れているように思います。皆さん懸命に生きて、そして主の許に再び旅立たれたという思いが致します。

豊かな出会いに感謝

司祭 神崎 和子

このように主に向かって懸命に生きる多くの方々と出会い、支えられ、祈られて、今日も「ハレルヤ主とともに行きましよう」と送り出されています。
(大森聖アグネス教会副牧師)

常置委員会報告(9月11日)

*秋期聖職試験ほか主教報告

*聖職候補生志願者と面接し受理妥当と、主教諮問に答申。

*小笠原への主教巡回を08年2月に変更、秋の教区会を公示、8月末財務状況、ソウル教区訪問プログラムなど、主教チャプレン・各主事報告を了承した。

*八王子復活教会の建築融資金借入期間延長申請を了承した。

*幼稚園委員会提出の06年度決算・07年度補正予算各検討結果報告および、月島聖ルカ保育園06年度監査終了報告を承認。

*幼稚園委員会設置期間満了に伴う対応策を協議した。

*教区企画室委員の任期終了に際し、企画室は主教が必要とす

る間継続することを確認した。

*管区「教区制改革委員会」宛「教区間協働の試みについての回答」の進め方を協議した。

*その他

▽エ教区ボランティア訪問団

帰国 ほぼ1ヶ月にわたるエ教区ヨルダンでのボランティア活動を終えて、一行11人はすでに帰国の途へ(22日帰国)。その間に幾度か、現地報告に接している宮脇博子宣教主事の談話「皆様から多額のカンパを頂き心から感謝しています。今回は、パレスチナの旅行社による聖地旅行を、という一つの目的があり、計画通り運んでいて、いまは、心一つにしてヨルダンの盲学校施設でボランティア活動をつづけ

ている様子ながら、食事は毎日、ダイエツトができてそうなるものだ。針灸・指圧師の青年は大歓迎とも。食前・食後の祈りを手話でした時、耳の不自由なこともたちから大歓声が起こったそう。つづかない帰国を祈っています」。

▽教区HP技術者養成講座

教区事務所主催・広報委員会・財務サービス委員会共催、第3回 11月3日(土・休) 14時から教区会館で、初心者向けの教会HP作成実技講習。定員20人。申込み受付中(10月20日締め)。参加費500円(資料代等)。教会の写真・紹介文(200字〜400字程度)等を携行。その他詳細照会は教区事務所・小川総主事宛。教区HPに詳細と申込みフォームを掲載中。

【学びと働きから】55

「大人企画」キャンプ

(8月末の2泊3日・箱根)

「大人を元気にする!」。この大それた合言葉のもとに集った20〜80代の想いはこの夏に一つのキャンプを生み出した! 教会と年齢の垣根を越えた27人の大人の素敵な物語である。

初日は白ふんどしを着けた代表の開会式から始まり、ブナ林の散策は都会にない緑、そしてチャイナドレスの美女に疲れを忘れて笑顔で記念写真。夜はグループに分かれて聖書研究、片手にお酒。悪酔いすることなく、まさに年代を越えて想いを共有し、分かち合えたひととき。

2日目は水辺での朝の祈りに

始まり、黙想の時間。27人の祈

りの想いは詩と音色に乗せて、いま読んでるあなたの心にも届けていましたよ。午後はメインイベントにふさわしい水鉄砲合戦! 「男?女?若さ?老い?司祭?いえないえ、無邪気にびしょぬれになり、走り回り、追い掛け回る子どもたちと傍らでここにこ笑顔で見守るかわいい子ども地球上でもっとも平和な時空間でしたよ(天の父談)」。夜のダンスパーティー。新たに出会えた仲間と踊り交わり、一つの輪となりました。素敵なひと夏の物語はここでお終い。さあ、あなたも一緒に次のページをめくりませんか?全ては御手のままに。

大人企画代表 神尾隆一郎

(練馬聖ガブリエル教会)

《今、この教会では…》

池袋聖公会

8月の土曜日に、「池聖」の青年交流会が行われた。乳幼児も含め、教会で比較的若い人たちが20人弱の参加があり、熱気と活力で満たされた。参加者は近況を語り、4月から着任された佐々木庸司祭に質問・意見をぶつけた。青年は色々な理由で礼拝・教会行事になかなか参加できず、積極的に参加している壮年・婦人との間の意思疎通は、必ずしも上手くいっているとは言えない。「池聖」のミッションとは何か、将来のビジョンとは何かを共に考え、ジェネレーションギャップを乗り越え、イエス様のもとに教会が一致できればと思う。

(牛木昌彦)